



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成30年11月～平成31年1月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyosjohas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月6日(火) 14:00～16:00	働き方改革と快適職場 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、職場のあり方を見直す動きが高まっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受け、社会的に評価されるとはということなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70
11月7日(水) 13:30～17:30	石綿関連疾患診断技術研修 石綿関連疾患について、石綿に関する一般的知識、石綿ばく露歴の把握方法、石綿関連疾患の診断及び労災補償制度等について解説します。また、画像診断のポイント解説後、実際の症例画像を用いた読影診断実習を行います。(本研修会は13時30分から17時30分までの4時間、専門2単位・実地2単位の研修です。)	岡山労災病院 腫瘍内科部長 藤本 伸一 横須賀市立 うわまち病院 呼吸器内科医師 上原 隆志	生涯・専門2 生涯・実地2	30
11月8日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法と労働者の健康管理 働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。また、今回の労働安全衛生法の改正では産業医の役割等についても強化されており、その点についても解説していきたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	70
11月14日(水) 14:00～16:00	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	荒川 輝雄	生涯・専門2	70
11月22日(木) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援 がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行うに産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・専門2	70
12月3日(月) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
12月6日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法と労働者の健康管理 働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。また、今回の労働安全衛生法の改正では産業医の役割等についても強化されており、その点についても解説していきたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	70
12月11日(火) 14:00～16:00	働き方改革と快適職場 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、職場のあり方を見直す動きが高まっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受け、社会的に評価されるとはということなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70

12月14日(金)	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方			
14:00～16:00	メンタルヘルス不調労働者に係る「事業者の安全配慮義務」、「復職判定」等に関する判例を紹介し、併せて、医師面談等の産業医活動における法的リスクの回避についても解説します。	梶川 清	生涯・更新2	70
12月18日(火)	健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～			
14:00～16:00	健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地1 生涯・更新1	40
12月21日(金)	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～			
14:00～16:00	対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	70
1月8日(火)	働き方改革と快適職場			
14:00～16:00	生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、職場のあり方を見直す動きが高まっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはどのようなことなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70
1月9日(水)	働く女性の健康管理			
14:00～16:00	男女雇用機会均等法の施行から33年が経ち、女性のライフスタイルの変化から、女性労働者を取り巻く環境の変化について振り返りたいと思います。ライフコースに沿った女性の健康管理のポイントを整理し、育児休業法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法など女性の就労環境を改善する法律についても解説します。	小島原 典子	生涯・専門2	70
1月10日(木)	働き方改革関連法と労働者の健康管理			
14:00～16:00	働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。また、今回の労働安全衛生法の改正では産業医の役割等についても強化されており、その点についても解説していきます。	中山 篤	生涯・更新2	70
1月16日(水)	長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施方法について			
14:00～16:00	厚生労働省が作成した『高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル』の活用と医師面談における法的リスクの回避について解説します。	梶川 清	生涯・更新2	70
1月18日(金)	アスベスト関連疾患の基礎			
14:00～16:00	石綿の製造等は禁止されたものの、解体作業等の石綿ばく露作業は今後も広く存在すること、石綿ばく露作業から石綿関連疾患が今後も多数発生することが危惧されること、平成30年にも関係法令の改正がなされたこと等から、アスベストは過去のものではなく、今後も産業医の対応が必要になります。このため、石綿関連疾患の予防、労災補償等の基礎知識について解説します。	石井 義脩	生涯・更新2	70
1月24日(木)	事例検討～産業医としてどう対応するか～			
14:00～16:00	職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思えます。	内田 和彦	生涯・実地2	40
1月25日(金)	建設現場における死亡災害の実態とせき損等職業性外傷			
14:00～16:00	建設業は、いまだ年間300人を超える死亡災害が発生し、全産業の1割弱の産業規模にも関わらず、その発生割合は3割程を占めています。このため、厚生労働省では今年度からスタートした第13次労働災害防止計画の中で、建設業を重点対策業種に指定し死亡災害の撲滅を目指しています。その死亡災害の中身を見ると、毎年繰り返し発生しているものばかりです。どうして繰り返し発生するのでしょうか。本研修では、建設現場で繰り返し発生している死亡災害、せき損等職業性外傷などの実態、建設現場で死亡災害が多発する要因、ヒューマンエラーを踏まえた効果的な労働災害防止対策などについて解説します。	労働安全衛生総合研究所建設安全グループ部長 高木 元也	生涯・専門2	70
1月29日(火)	産業保健と法⑬～健康情報の取扱い～			
14:00～16:00	今般のストレスチェック制度の施行により、個人情報取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、個人情報(健康情報)保護の考え方や構造について見ていきます。	弁護士 西園寺 直之	生涯・専門2	70
1月30日(水)	職場のメンタルヘルスにおける依存症			
14:00～16:00	人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	70

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月5日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	単位なし	30
11月12日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のラインケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてラインケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30
11月13日(火) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。 全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の理事長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 下平久美子	単位なし	30
11月19日(月) 14:00～16:00	IT企業のセルフケア ストレスチェック制度が始まって3年目になりました。 一次予防としてのストレスチェックをチェックだけにとどまらず、セルフケア研修なども実施して社員の方々が自分自身のストレスに気づき、早めに対処できるように取り組んでいらっしゃる企業も多いと思います。 毎回同じ研修にならないよう担当者の方は色々工夫されて実施されているのではないのでしょうか？ 私がおりましたIT企業では、過重労働、刻々と進歩する技術へのスキルアップの問題等ストレスの多い職場でしたが何よりも一番の問題は人間関係・職場環境でした。 その経験を踏まえ、体験お話ししながら交流分析のOKグラムとアサーションを取り入れ、ストレス対処について、人間関係、コミュニケーションの取り方を切り口にしたセルフケア研修をご紹介します。 職場で活用していただけるよう使用した教材は差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	シニア産業カ ウンセラ― 山口 尚子	単位なし	30
11月20日(火) 14:00～16:00	働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～ 働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。 今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。 また、労働安全衛生法だけではなく、その他の法令で関連する箇所についても触れていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
11月26日(月) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30
11月27日(火) 14:00～16:00	海外勤務者の健康管理 海外の職場では国内とは異なる健康問題が存在するため海外勤務者を抱える企業では、この集団に特化した健康管理体制の構築が求められています。本研修会では海外の職場における健康問題とその対策について解説をいたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎	単位なし	30
11月29日(木) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援～持続可能な働き方、メンタルヘルスとがん等の両立支援を求めて～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、早めの休職、復職への流れはいかがでしょうか。予防はもちろんですが、制度の活用により、働き続けられる職場環境づくりに期待したいですね。 職場復帰までの道のりを、事例に基づきながら、今自社でできる対応と一緒に学びませんか。 産業保健スタッフ等は、いつどのように対応していくことが効果的か、個別対応も含め、組織的にも、静から動へ向かって進める時、休職者の自分探しや自己発見・成長につながるよう、必要な傾聴と伴走、そして、働き続けられる職場環境づくりへ、働く喜びへとつながる実際をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30

11月30日(金) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会と職場巡視の計画的な開催と快適な職場環境の形成について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「安全衛生委員会と職場巡視の計画的な開催と快適な職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	20
12月4日(火) 14:00～16:00	<p>産業保健と法⑭～健康情報の取扱い～</p> <p>今般のストレスチェック制度の施行により、健康情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、健康情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
12月5日(水) 14:00～16:00	<p>レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	レジリエ研究所 所長/EAP コンサルティング普及協会 理事長 市川 佳居	単位なし	30
12月10日(月) 14:00～16:00	<p>「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学</p> <p>交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の理事長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介いたします。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	日本交流分析協会 下平久美子	単位なし	30
12月12日(水) 14:00～16:30	<p>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</p> <p>労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	単位なし	20
12月13日(木) 14:00～16:00	<p>ストレスチェック制度施行3年目～職場の変化、改善内容や意識の変化はいかかでしょうか～</p> <p>一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、3回の実施で見えてきた課題・問題点はいかがでしょうか。実施機関や実施方法、調査項目等、全体のPDCAサイクルの動きも気になるところです。仕事のストレス判定図を用いた集団的な分析には関心が高いようです。職場環境の改善の取り組み内容や実践はいかかでしょうか。時に助成金の活用、専門家の指導を受けて進めるのも一つの方法です。制度施行3年目を迎えた今、理想的なストレスチェック制度の活用を目指し、安心して受けられる、不利益にならないことの認知が進むよう、一緒に情報共有していきませんか。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	単位なし	30
12月17日(月) 14:00～16:00	<p>発達障害と思われる事例への対応を考える</p> <p>最近、発達障害と思われる職場不適應事例が多くみられます。事例を通して、その特徴と対処法について検討します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	森崎 美奈子	単位なし	30
12月19日(水) 14:00～16:00	<p>働く人のメンタルヘルス最前線⑩～法に基づくストレスチェック制度実践編(ベストプラクティスから学ぶ職場環境改善活動&健康経営)～</p> <p>事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、最新情報をもとに解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例やベストプラクティスをもとに、ポイントをまとめてご紹介いたします。その他、厚生労働省発信の最新の動き(労働安全衛生法の改正や指針・各種統計情報など)や、経済産業省が推し進めている、「健康経営」に取り組む企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」についても、解説いたします。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。※毎回すぐに受付終了となってしまう、ご迷惑おかけして申し訳ありません。今回は、初めて参加される方に焦点をあてて講義します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	30

12月20日(木)	働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～			
14:00～16:00	働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。 今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。 また、労働安全衛生法だけではなく、その他の法令で関連する箇所についても触れていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
12月25日(火)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える			
14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成30年10月23日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	30
12月26日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～			
14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
1月17日(木)	職場における救急体制			
14:00～16:00	職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	20
1月22日(火)	組織的公正と健康影響			
14:00～16:00	近年、成果主義の導入や非正規雇用の拡大など、処遇格差と密接に関わる人事方針を打ち出す企業が増え、企業と従業員との関係が大きく変化してきました。そのような中、「組織的公正」と呼ばれる概念が、従業員の健康に影響を及ぼす心理社会的要因として注目されるようになってきています。本研修の前半では、組織的公正による従業員への健康影響について、これまでに明らかになっている国内外の知見をご紹介しますと思います。 また、ストレスチェック制度において努力義務に位置づけられている職場環境改善(とくに従業員参加型の職場環境改善)には、組織的公正を高めるための取り組みのヒントが散りばめられています。本研修の後半では、ストレスチェック実施後の集団分析に基づく従業員参加型の職場環境改善の方法についてご紹介したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	北里大学 医学部 公衆衛生学 講師 井上 彰臣 古山 善一	単位なし	30
1月23日(水)	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～			
14:00～16:30	労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	20
1月28日(月)	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点			
14:00～16:00	過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 正三	単位なし	30
1月31日(木)	働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～			
14:00～16:00	働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。 今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。 また、労働安全衛生法だけではなく、その他の法令で関連する箇所についても触れていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
11月5日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	40
11月12日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のラインケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてラインケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	40
11月13日(火) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。 全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の理事長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 下平久美子	40
11月19日(月) 14:00～16:00	IT企業のセルフケア ストレスチェック制度が始まって3年目になりました。 一次予防としてのストレスチェックをチェックだけにとどまらず、セルフケア研修なども実施して社員の方々が自分自身のストレスに気づき、早めに対処できるように取り組んでいらっしゃる企業も多いと思います。 毎回同じ研修にならないよう担当者の方は色々工夫されて実施されているのではないのでしょうか？ 私がおりましたIT企業では、過重労働、刻々と進歩する技術へのスキルアップの問題等ストレスの多い職場でしたが何よりも一番の問題は人間関係・職場環境でした。 その経験を踏まえ、体験もお話しながら交流分析のOKグラムとアサーションを取り入れ、ストレス対処について、人間関係、コミュニケーションの取り方を切り口にしたセルフケア研修をご紹介します。 職場で活用していただけるよう使用した教材は差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	シニア産業カウンセラー 山口 尚子	40
11月20日(火) 14:00～16:00	働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～ 働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。 今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。 また、労働安全衛生法だけではなく、その他の法令で関連する箇所についても触れていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
11月26日(月) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	40
11月27日(火) 14:00～16:00	海外勤務者の健康管理 海外の職場では国内とは異なる健康問題が存在するため海外勤務者を抱える企業では、この集団に特化した健康管理体制の構築が求められています。本研修会では海外の職場における健康問題とその対策について解説をいたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎	40
11月29日(木) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援～持続可能な働き方、メンタルヘルスとがん等の両立支援を求めて～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、早めの休職、復職への流れはいかがでしょうか。予防はもちろんですが、制度の活用により、働き続けられる職場環境づくりに期待したいですね。 職場復帰までの道のりを、事例に基づきながら、今自社でできる対応と一緒に学びませんか。 産業保健スタッフ等は、いつどのように対応していくことが効果的か、個別対応も含め、組織的にも、静から動へ向かって進める時、休職者の自分探しや自己発見・成長につながるよう、必要な傾聴と伴走、そして、働き続けられる職場環境づくりへ、働く喜びへとつながる実際をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40

11月30日(金) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会と職場巡視の計画的な開催と快適な職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「安全衛生委員会と職場巡視の計画的な開催と快適な職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
12月4日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑭～健康情報の取扱い～ 今般のストレスチェック制度の施行により、健康情報の取扱いがより煩雑になったと言われていいます。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、健康情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	40
12月5日(水) 14:00～16:00	レジリエンスについて 仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。 EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	レジリエ研究所長 /EAPコンサルティング 普及協会理事長 市川 佳居	50
12月10日(月) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。 全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の理事長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 下平久美子	40
12月12日(水) 14:00～16:30	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	50
12月13日(木) 14:00～16:00	ストレスチェック制度施行3年目～職場の変化、改善内容や意識の変化はいかかでしょうか～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、3回の実施で見えてきた課題・問題点はいかがでしょうか。 実施機関や実施方法、調査項目等、全体のPDCAサイクルの動きも気になるところです。仕事のストレス判定図を用いた集団的な分析には関心が高いようです。職場環境の改善の取り組み内容や実践はいかかでしょうか。時に助成金の活用、専門家の指導を受けて進めるのも一つの方法です。制度施行3年目を迎えた今、理想的なストレスチェック制度の活用を目指し、安心して受けられる、不利益にならないことの認知が進むよう、一緒に情報共有していきませんか。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
12月17日(月) 14:00～16:00	発達障害と思われる事例への対応を考える 最近、発達障害と思われる職場不適應事例が多くみられます。事例を通して、その特徴と対処法について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	40
12月19日(水) 14:00～16:00	働く人のメンタルヘルス最前線⑩～法に基づくストレスチェック制度実践編(ベストプラクティスから学ぶ職場環境改善活動&健康経営)～ 事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、最新情報をもとに解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例やベストプラクティスをもとに、ポイントをまとめてご紹介いたします。 その他、厚生労働省発信の最新の動き(労働安全衛生法の改正や指針・各種統計情報など)や、経済産業省が推し進めている、「健康経営」に取り組む企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」についても、解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 ※毎回すぐに受付終了となってしまう、ご迷惑おかけして申し訳ありません。今回は、初めて参加される方に焦点をあてて講義します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	40

12月20日(木)	働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～		
14:00～16:00	働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。 今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。 また、労働安全衛生法だけでなく、その他の法令で関連する箇所についても触れていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
12月25日(火)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える		
14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成30年10月23日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	40
12月26日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～		
14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
1月17日(木)	職場における救急体制		
14:00～16:00	職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	10
1月21日(月)	がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～		
14:00～16:30	今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを旨として、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。	錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	30
1月22日(火)	組織的公正と健康影響		
14:00～16:00	近年、成果主義の導入や非正規雇用の拡大など、処遇格差と密接に関わる人事方針を打ち出す企業が増え、企業と従業員との関係が大きく変化してきました。そのような中、「組織的公正」と呼ばれる概念が、従業員の健康に影響を及ぼす心理社会的要因として注目されるようになってきています。本研修の前半では、組織的公正による従業員への健康影響について、これまでに明らかになっている国内外の知見をご紹介します。また、ストレスチェック制度において努力義務に位置づけられている職場環境改善(とくに従業員参加型の職場環境改善)には、組織的公正を高めるための取り組みのヒントが散りばめられています。本研修の後半では、ストレスチェック実施後の集団分析に基づく従業員参加型の職場環境改善の方法についてご紹介したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	北里大学 医学部 公衆衛生学講師 井上 彰臣 古山 善一	40
1月23日(水)	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～		
14:00～16:30	労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	50
1月28日(月)	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点		
14:00～16:00	過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 正三	40
1月31日(木)	働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～		
14:00～16:00	働き方改革関連法が7月6日公布され、9月になり関連する政省令が出されました。今後行政等でも説明会が開催されると思いますが、働き方改革関連法は多岐にわたっており、その内容もかなり広く膨大なものとなっています。 今回は主に労働安全衛生法の改正に焦点をあてて、現行の法令を含め、今後の労働者健康確保対策の方向を働き方改革の流れと併せて解説します。 また、労働安全衛生法だけでなく、その他の法令で関連する箇所についても触れていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40